

## 「出題の意図」

選抜区分	2026（令和8）年度（選抜区分：学校推薦型選抜） 国際環境工学部 環境化学工学科（科目名：化学・面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><b>【化学】</b></p> <p><b>第1問</b> 中和反応および硫酸の製造プロセスを題材に、pHの定義、化学量論、物質の性質に関する基礎学力および計算力を問う問題である。</p> <p>問1 pHや水のイオン積の定義を問うと共に、その定義を元とした実際の水溶液のpHや中和反応の時の化合物の濃度を電離や化学量論を踏まえた計算力を問う問題である。</p> <p>問2 硫酸の製造プロセスを基に、プロセス中で起きる化学反応や生成物、さらにそれら化学物質の性質など基礎的な化学物質に関する知識と理解力を問う問題である。</p> <p><b>第2問</b> 酸化還元反応を題材とし、化学量論を踏まえた計算力を問う問題である。</p> <p>問1 酸化剤・還元剤の定義の理解を問う問題である。</p> <p>問2・問3 過マンガン酸カリウムと過酸化水素の酸化還元反応に対する理解を問う問題である。</p> <p>問4 実際の酸化還元滴定時に起こる現象について問う問題である。</p> <p>問5・問6 化学反応式を元とし、化学量論を踏まえた計算力を問う問題である。</p> <p><b>【面接】</b> 集団面接を行った。本学への志望動機、推薦選抜での入学を希望する理由、就学意欲、将来の進路などを最初に説明してもらい、その後、基礎的な化学の知識に関する基本用語などについて質疑を行い、基礎学力、意欲、コミュニケーション能力等の項目について評価した。</p>